

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	技術者倫理	
科目基礎情報							
科目番号	4E1840			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電気電子工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	前期:2		
教科書/教材	藤本温編著『技術者倫理の世界』 第3版 森北出版、K-SEC分野別教材						
担当教員	前田 隆二						
到達目標							
1. 社会が求める技術者の倫理を説明できる。(B2) 2. 社会に対する技術者の義務を説明できる。(A3) 3. 技術者と社会と組織の関係性を説明できる。(B2) 4. ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行うことができる。(B2)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	社会が求める技術者の倫理を説明できる。			社会が求める技術者の倫理をほとんど説明できる。		社会が求める技術者の倫理を説明できない。	
評価項目2	社会が求める技術者の義務を説明できる。			社会が求める技術者の義務をほとんど説明できる。		社会が求める技術者の義務を説明できない。	
評価項目3	技術者と社会と組織の相互関係を説明できる。			技術者と社会と組織の相互関係をほとんど説明できる。		技術者と社会と組織の相互関係を説明できない。	
評価項目4	ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行い、協調性を培うことができる。			ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行い、協調性を培うことがほとんどできる。		ある事例について様々な視点で捉え、複数の解決策を模索し、グループワークやディスカッションを行い、協調性を培うことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	技術が発展していく中で、技術者に対して要求されうる倫理を学び、モノを作り出す上で必要な倫理的知識を修得する等を通じて、社会に出た後に実践・応用できる倫理観を養う。 この科目は学修単位科目のため、事例研究としてのレポートの提出、授業後の質問課題の提出を実施する。						
授業の進め方・方法	予備知識：技術が発展していくにつれて、技術者に対する社会的要求が高度になってきていることを自覚し、講義へ望むことが期待される。 講義室：四年各教室または情報セキュリティ演習室 授業形式：講義、事例紹介、グループ討議、発表 学生が用意するもの：教科書、ノート、ファイル(配布資料用)						
注意点	評価方法：試験(A3,B2)50%、発表・レポート等(A3)30%、ディスカッション内容(提出物・相互評価・態度等)(B2)20%とし、各項目で60点以上かつ総合成績60点以上を単位取得とする。 自己学習の指針：各自、教科書の関係箇所や配布資料を熟読し、試験やグループディスカッションに備えること。 オフィスアワー：月曜日16:10～17:00						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 技術者の視点		学習目標や方法・評価などや技術者倫理とは何かを理解できる。		
		2週	チャレンジャー号爆発事故 技術者倫理とは		チャレンジャー号爆発事故の概略を説明でき、組織や個人の観点から様々な意見を聞き、考えることができる。		
		3週	倫理と法1		倫理と法の関係性を理解できる。		
		4週	倫理と法2		六本木ヒルズ回転ドアの事故の概略を説明でき、組織や個人の観点から様々な意見を聞き、考えることができる。		
		5週	倫理規程		倫理規程の内容、意味、目的やプロフェッショナルに付随する倫理を理解できる。		
		6週	安全性とリスク1		用語を把握し、危険と安心の感覚を理解し、倫理問題の所在を理解できる。		
		7週	安全性とリスク2		グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。 (K-SEC分野別教材)		
		8週	費用便益分析と製造物責任法1		費用便益分析と製造物責任法について説明できる。		
	2ndQ	9週	費用便益分析と製造物責任法2		フォード・ピント事件に対して様々な視点から考察し、グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。		
		10週	倫理問題の特徴		倫理問題の特徴を理解できる。		
		11週	組織の問題1		グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。		
		12週	組織の問題2		三菱リコール隠しに対して様々な視点から考察し、グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。		
		13週	公益通報－内部告発－1		公益通報を説明できる。		

		14週	公益通報－内部告発－2	グループディスカッションを通して様々な観点から考え、グループワークができる。	
		15週	優れた技術者をめざして 全体のまとめ	持続可能な社会、環境問題を説明できる。 優れた事例を通して、技術者の視点、公衆の視点や技術者倫理を習得することについて理解し、実践とのつながりについて説明ができる。	
		16週	前期定期試験		
評価割合					
		試験	発表	ディスカッション	合計
総合評価割合		50	30	20	100
基礎的能力		50	30	20	100
専門的能力		0	0	0	0
分野横断的能力		0	0	0	0